

## 令和7年度 第2回 海老名市・県フルインクルーシブ教育推進会議【議事概要】

### 1. 開催の状況

- (1) 開催月日：令和7年8月26日（火）10:00～11:30
- (2) 開催場所：横浜市開港記念会館 2階 会議室6号室
- (3) 出席者：13名 ※1名欠席（県央教育事務所指導課長）

### 2. あいさつ

- 議長の伊藤教育長（海老名市教育委員会）より、昨年度からフルインクルーシブ教育について話し合ってきたが、まだまだ課題が多いことと、今後の具体的な取組について意見を頂いてさらに推進していきたい旨、あいさつがあった。
- 花田教育長（神奈川県教育委員会）より、今年度も様々な形で「対話の場」を実施して市民・県民の意識醸成を進めていることへの感謝と、今後は校内の支援体制を整備して保護者に安心してもらうことが重要である旨、あいさつがあった。

### 3. 報告

#### (1) 令和7年度の主な取組状況について【資料1】

- 事務局より、令和7年度の主な取組状況について、資料1に基づき、報告がなされた。

#### (2) 調査研究部会の進捗について【資料2】

- 調査研究部会副部会長の就学支援課長より、調査研究部会の進捗について、資料2に基づき、報告がなされた。

※ 海老名市フルインクルーシブ教育推進協議会の進捗について、事務局より書面にて報告がなされた。【資料3】

（主な意見）

- ・ 調査研究部会で、しっかりと専門的な知見に立った議論をしていただきたい。
- ・ 対話の場には、今の取り組みを知っている方が多く参加していると思う。これからは、興味のない方をどう取り込んでいくのか、もう少し発信していくことが必要なのではないか。

### 4. 議題

#### (1) 今後のインクルージョンへの理解・啓発に係る取組について【資料4】

- 事務局より、理解・啓発に係る取組について、資料4に基づき、説明がなされ、その後協議を行い、資料のとおり確定した。

（主な意見）

- ・ 今年度初めて参加する、えびな市民まつりは参加者が 15 万人来る大きなイベント。家族連れや子どもたち向けにフルインクルーシブ教育を PR する良い機会である。

## (2) 教育支援コーディネーター(※)の役割と現状について【資料5】

(※) 令和7年度より、度老名市が「すべてのこどもが、小学校、中学校とともに学べる環境の実現」をめざし、従来の教育相談コーディネーターを変更して新たに設置した。詳細については、【資料5】を参照

- 事務局より、教育支援コーディネーター（以下、教育支援 Co）の役割や現状について、資料5に基づき説明がなされ、その後協議を行った。

(主な意見)

- ・ 教育支援 Co の必要性に異論はないが、学校づくりにおいて、教職員が自ら動き出す組織にしていかないといけない。
- ・ 海老名市の教職員を対象にアンケートを行ったところ、困った時に相談する先としては、管理職が多かった。教育支援 Co が多忙で話しかけられない状況がある。
- ・ 包摂性の高い学校づくりをしていく上で、教育支援 Co が核になっていく。そのためには、教育支援 Co は、学級担任を持っていては役割を果たせないのではないか。
- ・ 教育支援 Co が具体的にどのような業務を行っているのか、学校の教員以外にも分かるようにしていく必要がある。また、教育支援 Co がどのように他の教職員と関わっていくかも整理していく必要がある。

## (3) 令和7年度 有識者による外部評価について【資料6】

- 事務局より、外部評価について、資料6に基づき説明がなされ、資料のとおり確定した。

## (4) 令和8年度 有識者等によるアドバイザー委嘱について【資料7】

- 事務局より、アドバイザー委嘱について、資料7に基づき説明がなされ、資料のとおり確定した。

## 5. 事務連絡

- 第3回調査研究部会は、10月30日（木）えびなこどもセンターで実施予定
- 第3回推進会議は、2月9日（月）えびなこどもセンターで実施予定

以上